

事業コード	03010208	政策コード	03	政策名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略
事業名	隣県観光誘客促進事業	施策コード	01	施策名	ビジネスとして継続・成長していく総合戦略産業としての観光の推進
部局名	観光文化スポー	指標コード	02	施策目標(指標)名	お客様と秋田への観光を結び付けるネットワークづくり
	課室名 観光振興課	班名	国内観光班	(tel) 2265	担当課長名 舩屋修美
					担当者名 高橋悠規

評価対象事業(計画)の内容

事業年度 平成26年度 ~ 平成99年度

1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)  
 本県を訪れる観光客のおよそ5割を占め、リピート率の高い隣県からの誘客を促進するため、各種宣伝媒体やイベント等を活用した観光PRを実施するほか、県内外から多くの集客が期待される「東北六魂祭2015秋田」開催への支援を行う必要がある。

3. 事業目的(どういう状態にしたいのか)  
 アクセスや観光ルートを含めた観光情報発信を行うことで、周遊観光を促し、秋田県内のさまざまな地域への誘客を促進する。  
 (重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望

2. 住民ニーズの状況  
 ニーズを把握した対象  
 受益者 一般県民 (時期: 年 月)  
 ニーズの把握の方法  
 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット  
 その他の手法 (具体的に )  
 ニーズの具体的内容

4. 目的達成のための方法  
 事業の実施主体 東北六魂祭2015秋田実行委員会、一般社団法人秋田県観光連盟 ほか  
 事業の対象者・団体 秋田県への観光客、青森県、岩手県、山形県、宮城県在住者  
 達成のための手段  
 隣県の都市や商業施設での観光プロモーション 新聞折込等による観光情報発信 東北六魂祭2015秋田開催支援

隣県で行ったアンケートによると、秋田県に来たことがある方が90%以上と非常に多く、そのうち約50%の方が、1年に1回以上訪れるリピーター。秋田県への興味関心が高く、この地域へのPRは効果が高いと推測される。隣県からの観光客の約7割が車利用者であり、車を利用した際のアクセス情報も含めた情報発信が、誘客促進に効果的と考えられる。

比較した代替手段及び選択した手段の有効性  
 東北六魂祭2015秋田の主催は、開催市である秋田市が事務局を務める当実行委員会であり、他の団体では事業実施が不可能。隣県への観光PRについては、広告代理店も検討したが、実際に会場に足を運んでの観光PRや新聞等への情報発信が主たる事業であり、秋田県全域の観光に精通している必要があることから、秋田県観光連盟に委託する必要がある。

把握していない場合の理由及び今後の方針

理由	
今後の方針	

5. 事業の全体計画及び財源		単位(千円)							
順位	事業内訳	左の説明	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体(最終)計画
01	隣県情報発信事業	隣県の新聞折込を活用した本県の観光情報発信や、県内の市町村、民間等との連携による観光PRイベント、高速道路サービスエリアでのリーフレット配布等を行う。	9,139						
02	「東北六魂祭2015秋田」開催支援事業	東日本大震災からの復興を願って、東北六県を代表する夏祭りが集結する一大イベント「東北六魂祭2015秋田」に対して助成する。	35,000						
財源内訳		左の説明	44,139						
国庫補助金		地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金 消費喚起型	37,078						
県の債									
その他									
一般財源			7,061						

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		秋田県観光客数の増加							
指標	指標名	東北六魂祭2015秋田の来場者数(千人)					指標の種類		
	指標式	東北六魂祭2015秋田への来場者数。					成果指標 業績指標		
	年度別の目標値(見込まれる成果による指標)								
	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	最終年度
	目標a				225				
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国	主催者発表							
把握する時期								当該年度中03月 翌年度 月 翌々年度 月	

指標	指標名	観光地等入込客数(述べ人数・千人)					指標の種類		
	指標式	1年間の本県の観光地等への入込客数。					成果指標 業績指標		
	年度別の目標値(見込まれる成果による指標)								
	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	最終年度
	目標a			32,133	32,454				
	実績b	31,745	32,133	データ等の出典					
	東北 全国	観光統計調査							
把握する時期									当該年度中 月 翌年度 08月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法  
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性	
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性	北陸新幹線の開通や北海道新幹線函館延伸といった外的要因の中、秋田県への観光客数を増加させるためにも、そういった外的要因の影響が小さい隣県へのPRや、高い集客力を誇る東北六魂祭2015秋田への開催支援により、秋田への誘客を促進する必要がある。
住民ニーズに照らした事業の必要性	秋田への興味関心が高い隣県での積極的な情報発信が不足していることから、観光ルートや新たな観光情報などを発信する本事業の必要性は高い。
事業の県関与の必要性	法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの
	旅行社にとって市町村境は関係なく、各地域でも他自治体、民間と連携して施策が進められていくものであり、県域の取組として県が実施すべき事業である。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
		重点事業 その他